

## 大型平ボディの新車が納車されました！



2月14日大安吉日、午前10時に待望の新車、中低床の大型平ボディ、122号車が納車されました。担当ドライバーは橋本孝之さんです。

当日は忙しい中、納車式にお立会いいただいた皆様、誠にありがとうございました！

新車が納車する日は、いつも特別に感じます。構内に入ってくる瞬間や、納車式の際は、本当に感慨深いですね。赤田運輸産業の新しい歴史にまた1ページが加わりました。

数多くの貨物と希望を運ぶ活躍を期待します！

## 新車は希望、夢、未来。 共に歩む大切な仲間。



裏面もあります。

## From Today Onward..「今日」から「明日」へ

「奇跡って偶然の上起きるものじゃないのです」

東日本大震災で園児 54 人全員を避難させた、関上保育所佐竹悦子所長の言葉です。

震災前年の 2010 年、関上保育所の職員は地域の防災訓練に参加しました。その際に、保育所の防災マニュアルに不安を感じ、毎月の打合せで見直していくことに決めました。避難場所を決める時は、内陸にある中学校や公民館ではなく、みんなの不安を最小限にする為に、と子ども達と何度も行ったことのある小学校に決めました。

小さな子ども達を連れて避難するには車移動になるのは避けられません。その為、あらかじめ渋滞しそうな場所や信号の多い道を選避けるよう裏道を職員各自で考え、実際に地区内の道路を何度も走り、議論して決めたとのことです。

そして、新しいマニュアルが完成したのは震災が起こる 1ヶ月前でした。

佐竹所長は、

「マニュアルは作って安心、ではなく常に確認するもの。私たちはこの日、冷静ではなかった。

非常時の持ち出しグッズも持って出ることができなかった。それでも全員助かったのは、目頃、全員が非常時にやるべきことを確認していたから、これに尽きると思う」と仰っています。

佐竹さんの言葉から、自分の身体で実際に体験し、各々があらかじめ準備しておくことがとても大切であるのがよく分かります。4 月と 9 月にある避難訓練が自分自身の、そして大切な人の命を守る経験につながるよう、全員で取り組めたいと思います。

## 新入社員、藤本昌也さん

3 月 3 日より、事務所の新メンバーとして藤本昌也さんが入社されました！  
詳しい紹介はまたこちらの紙面にて。皆さん、新しい仲間と共に頑張っていきましょう！



### 7千情報スペース 掲示板

- ・4 月 7 日は後藤貴浩主任の誕生日です。  
おめでとうございます！
- ・第 2 倉庫、第 3 倉庫のハト対策が完了しました。  
2~4 年は薬の効果があるそうです。  
倉庫内に入らないように、こまめに扉を閉めて下さい。
- ・最近、配達件数が多くなっておりますがいつも配達のご協力ありがとうございます！

## 編集後記

先日、新人の山縣さんの添乗指導を行ったさい自分が入社した頃の思い出話をしました。

運送業界に飛び込み、20 余年。

先輩から恩義を受けて今の自分がある事。

赤田運輸産業に入社した経緯や、11 年の歴史。

思い出に浸りすぎて少々目頭が熱くなってしまいました。年のせいでしょうか。

その中で、「いつかあなたに後輩ができたなら、して欲しい事がある。」山縣さんに言いました。

自分が先輩にしてもらって嬉しかった事を、同じように後輩にしてあげて欲しい。という事。

人の繋がりや、すべてが一直線ではありません。

関係性が希薄な現代においてはなおさらです。

しかし、会社の成り立ちは、屋台骨を支えてきた先人達の努力や研鑽があってこそ。

先輩の背中が大きく、頼もしい。自分もそうありたいと必死に後を追いかけた。それが輪となり、

未来になると信じています。ではまた来月。